

## 2023年12月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日  
上場取引所 東

上場会社名 OOKABE GLASS株式会社  
 コード番号 5886 URL <https://ookabe-glass.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名)大壁 勝洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名)酒井 佳世子 TEL 0776 (54)4557  
 中間発行者情報提出予定日 2023年9月29日  
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期中間期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期中間期	633	—	76	—	77	—	47	—
2022年12月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年12月期中間期 55百万円(-%) 2022年12月期中間期 -百万円(-%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期中間期	19.81	—
2022年12月期中間期	—	—

(注) 1. 2022年12月期中間期については、中間連結財務諸表を作成していないため、2022年12月期中間期の数値及び対前年同期増減率並びに2023年12月期中間期の対前年同期増減率を記載しておりません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期中間期	1,154	665	57.5
2022年12月期	1,144	609	53.2

(参考) 自己資本 2023年12月期中間期 665百万円 2022年12月期 609百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	0.00	0.00	0.00
2023年12月期	0.00		
2023年12月期(予想)		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,295	5.7	126	2.5	125	△4.3	77	△4.7	32.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間会計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期中間期	2,372,200株	2022年12月期	2,372,200株
② 期末自己株式数	2023年12月期中間期	—	2022年12月期	—
③ 期中平均株式数(中間期)	2023年12月期中間期	2,372,200株	2022年12月期中間期	2,372,200株

(注) 当社は、2022年12月29日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算出しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 今後の見通し .....	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症との共存が進み、行動制限が緩和されるなど、社会経済活動の正常化に向けた動きがみられました。一方で、ウクライナ情勢の長期化に伴うエネルギー価格の高騰や物価上昇に加え、世界的なインフレの加速、為替の変動など先行き不安も懸念されております。リフォーム市場においては、「国土交通省・経済産業省・環境省」3省連携による住宅の省エネ化支援強化策として「住宅省エネ 2023 キャンペーン」が開始され、一般ユーザーへ窓断熱の認知度が向上しました。

このような状況の中、当社グループは「融通が利く」EC のプロ集団として、コールセンターによるヒアリング・提案力の強化はもちろん、特急便・ゆっくり便といった新サービスの追加など、お客様に寄り添ったサービスの提供に努めております。また、WEB 広告の細分化による新規顧客の獲得、WEB サイトのコンバージョン率改善、非住宅案件開拓のための新規コンテンツ作成による成約率向上、梱包改善による顧客満足度向上などの取り組みも合わせて行うことで、顧客数・売上高ともに順調に拡大いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は 633 百万円、営業利益は 76 百万円、経常利益は 77 百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は 47 百万円となりました。

なお、当中間連結会計期間は、中間連結財務諸表の作成初年度であるため、前年同期との比較分析は行っておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間の財政状態につきましては、次のとおりです。

##### (資産の部)

当中間会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 9 百万円増加し、1,154 百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加によるものであります。

##### (負債の部)

当中間会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ 45 百万円減少し、489 百万円となりました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

##### (純資産の部)

当中間会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 55 百万円増加し、665 百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加によるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の期末残高は、前連結会計年度末と比べ 21 百万円増加し、522 百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

なお、当中間連結会計期間は、中間連結財務諸表の作成初年度であるため、前年同期との比較分析は行っておりません。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は 96 百万円となりました。これは主に税金等調整前中間純利益 77 百万円の計上によるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は 1 百万円となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出 1 百万円によるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は 73 百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出 68 百万円によるものです。

### (3) 今後の見通し

2023 年 12 月期における通期業績予測につきましては、2023 年 6 月 27 日に公表した業績予想から変更しておりません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の緒情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記  
(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022 年 12 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2023 年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	446,244	467,923
売掛金	70,764	80,392
商品	25,138	22,253
預け金	58,939	59,232
その他	40,288	12,192
貸倒引当金	△309	△669
流動資産合計	641,064	641,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	97,227	94,262
土地	246,659	246,659
リース資産(純額)	4,281	3,916
その他(純額)	619	493
有形固定資産合計	348,787	345,332
投資その他の資産		
投資有価証券	43,529	56,448
長期前払費用	45,176	45,085
保険積立金	32,564	32,643
繰延税金資産	2,121	2,322
その他	31,714	31,780
投資その他の資産合計	155,106	168,280
固定資産合計	503,894	513,612
資産合計	1,144,958	1,154,938

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022 年 12 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2023 年 6 月 30 日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	37,900	44,686
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	24,137	14,940
リース債務	763	767
未払金	35,510	41,386
未払法人税等	24,645	31,833
未払消費税等	10,028	13,442
その他	50,370	52,865
流動負債合計	193,354	209,920
固定負債		
社債	25,000	20,000
長期借入金	306,376	247,257
リース債務	3,528	3,143
退職給付に係る負債	5,205	6,482
繰延税金負債	1,574	3,005
固定負債合計	341,683	279,888
負債合計	535,037	489,809
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	105,904	105,904
利益剰余金	489,692	536,695
株主資本合計	605,597	652,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,324	12,529
その他の包括利益累計額合計	4,324	12,529
純資産合計	609,921	665,129
負債純資産合計	1,144,958	1,154,938

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (自 2023 年1月 1 日 至 2023 年6月 30 日)
売上高	633,639
売上原価	220,528
売上総利益	413,110
販売費及び一般管理費	336,743
営業利益	76,366
営業外収益	
受取利息	302
受取配当金	159
為替差益	259
受取保険金	304
受取助成金	585
その他	560
営業外収益合計	2,170
営業外費用	
支払利息	641
その他	378
営業外費用合計	1,019
経常利益	77,517
税金等調整前中間純利益	77,517
法人税、住民税及び事業税	32,600
法人税等調整額	△2,085
法人税等合計	30,514
中間純利益	47,002
親会社株主に帰属する中間純利益	47,002



(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (自 2023 年1月 1 日 至 2023 年6月 30 日)
中間純利益	47,002
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	8,204
その他の包括利益合計	8,204
中間包括利益	55,207
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	55,207
非支配株主に係る中間包括利益	—

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間(自 2023 年1月1日 至 2023 年6月 30 日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	その他の包 括利益累計 額合計	
当期首残高	10,000	105,904	489,692	605,597	4,324	4,324	609,921
当中間期変動額							
親会社株主に 帰属する 中間純利益	—	—	47,002	47,002	—	—	47,002
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)	—	—	—	—	8,204	8,204	8,204
当中間期変動額合計	—	—	47,002	47,002	8,204	8,204	55,207
当中間期末残高	10,000	105,904	536,695	652,599	12,529	12,529	665,129

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (自 2023 年1月 1 日 至 2023 年6月 30 日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純利益	77,517
減価償却費	3,455
為替差益	△259
貸倒引当金の増減(△は減少)	359
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,277
受取利息及び受取配当金	△461
支払利息	641
売上債権の増減額(△は増加)	△9,627
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,885
仕入債務の増減額(△は減少)	6,785
未払金の増減額(△は減少)	5,875
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,414
その他の増減額	18,592
小計	110,456
利息及び配当金の受取額	391
利息の支払額	△620
法人税等の支払額	△13,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	96,905
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
保険積立金の積立による支出	△79
投資有価証券の取得による支出	△1,398
その他の増減額	△304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,782
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△68,316
社債の償還による支出	△5,000
リース債務の返済による支出	△401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,717
現金及び現金同等物に係る換算差額	259
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,664
現金及び現金同等物の期首残高	500,691
現金及び現金同等物の中間期末残高	522,356

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは EC サイト開発運営事業を単一の報告セグメントとしているため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。